

さっぽろ気候変動

ゆるミーツ

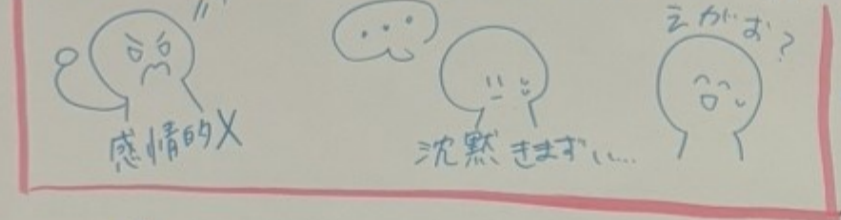
2024.2.24 木曜日

① まちのことや地域の未来に
みんなで「対話」する
② 全6回
③ 「私たちの地域に
ついて対話する」にチャレンジ!

今日の目的

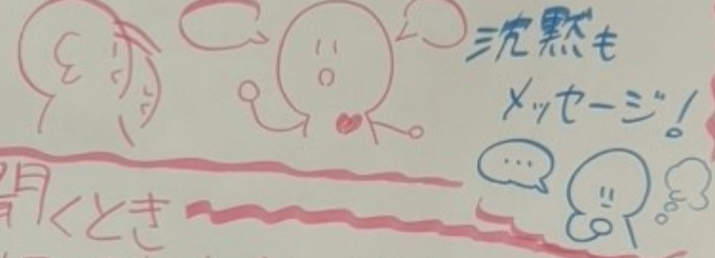
- ・ 私たちが地域でできることを考える
- ・ 市民「参加」、「活動」について考え札幌のありたい姿を考える。

普段の話合いのルール・マナー

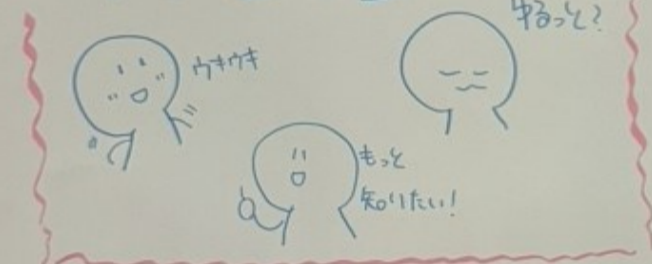


☆ 対話のときの約束

- 話すとき
- ・ 自分の気持ち、意見、経験を話す

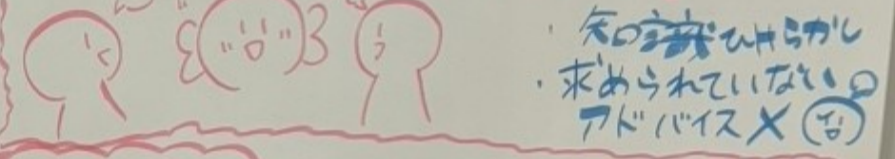


今のきもち



○ 聞くとき

- ・ 話している人に好奇心と敬意を!



チャレンジ報告

- ・ 身近な人と話そう
- ・ パートと対話する
- ・ 学校で団体を作り対話・共有
- ・ 児童館で対話

海外は積極

はずかしい

みんながやる

みんなが参加したい...

したい...

次回も

→ 引き続き...

希望

自主性

応援したい

めっちゃ大事!!

Q. 「市民参加」や「市民活動」に
どんなイメージがありますか?

型に似てる

お役所 どのなの?

いきなり高いだけ

きんちょう

たのしそうだけど無関心な人は...

一人たどんでかい

参加したいけど...

むかしの方が

活発

アグリコック

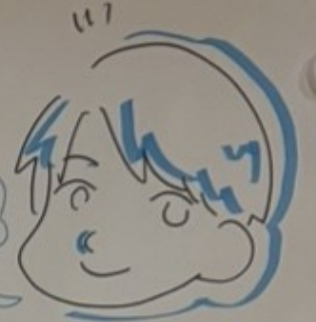
寄付

ボランティア

～市民参加や市民活動が
生まれるまじの姿とは？
スウェーデンを事例に～

もろ ^す ^み
両角

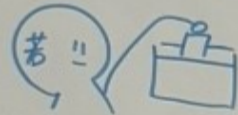
たっ ^ん
達平さん



○日本の若者

→ 社会参加への意識 (低)
校内 校外
→ 意識 (高) 部活など
→ 意識 (低) 趣味、アルバイト、エンタメ > 社会参加


・若者の投票率 2~30%



○政治家若い人 (少)

○スウェーデン

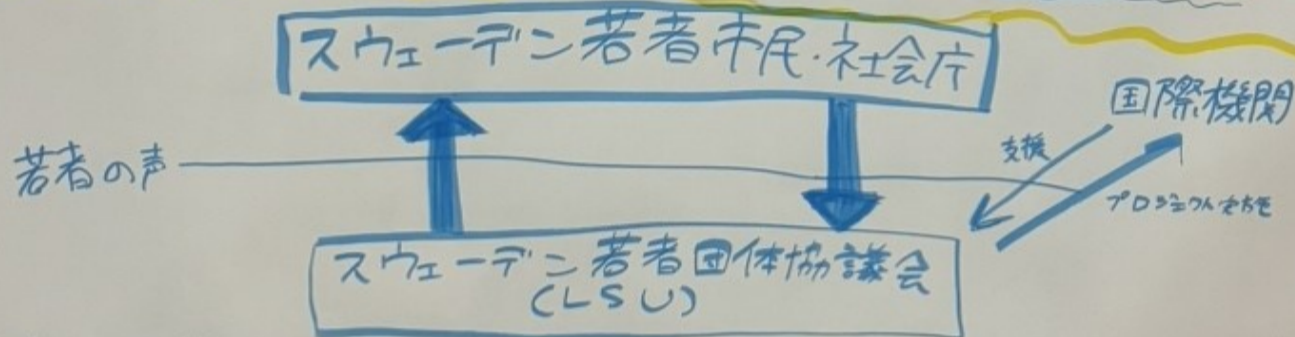
・SDGs 31位
・ジェンダーギャップ指数 '4位'
など....
・若者が幸せな国 '1位'







・若者の投票率 85%
RR  政治家若い



○非営利の若者団体

若者協議会

民主主義を強固にする役割

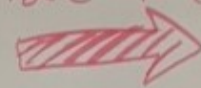


～学校に影響力を発揮できる場～
○給食協議会   
○クラス会議   
○生徒会

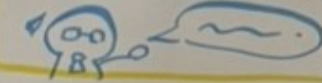
学校での政治の教え方
資料批判教育 中立の徹底
 

- スウェーデンのユースセンター・余暇センター
- ① 開放性 利用料無償
- ② 自由性 個人 > 集団
- ③ 無目的性 かつらじ

なぜ可能？



政党ローカル



平等・民主的

「若者政策」
・人生の前半の費用 → 税金・社会
・長く多様な「移行期」
若者団体・多くの助成金

●日本●

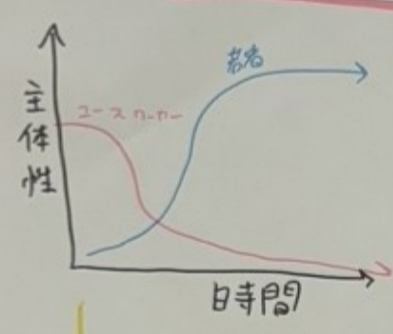
- 大学入学の平均年齢 78歳
- "余暇"の時間が少ない (ニート) = 3

●スウェーデン●

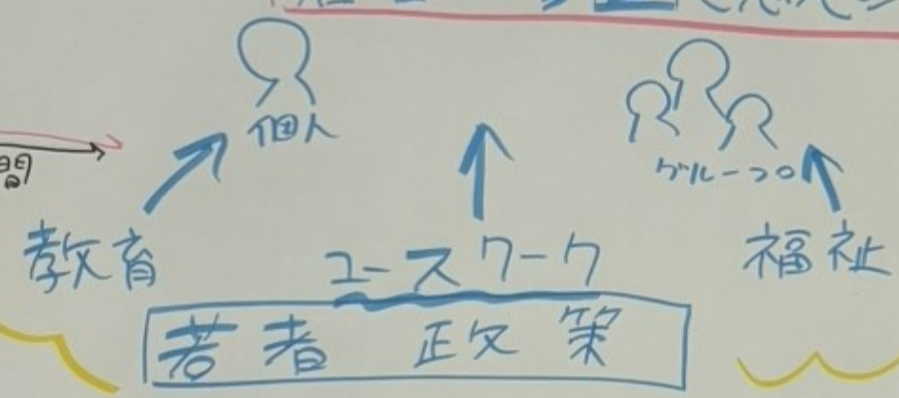
- 大学入学の平均年齢 24歳
- 大抵もスタディーサークルで "余暇"を楽しむ (ニート)

「余暇 (Leisure)」とは? → 職業労働の対極

～市民参加、市民活動が生まれるまじには?～



若者の参画 (意思決定)



なぜ大事?
人権だから
生きる力の
市民になる

～おわりに～

- 若者 などあらゆる市民が参画する民主的な社会は可能
- 自発的な 社会活動
- 声か聴かぬ → 影響力の発揮
- "何をしてくるか" → "自分たちに何かができるか?"

若い人への補助を日本でもっと...

どうなの?

スウェーデンと日本は根本的に違う...

Q. 西角さんのお話を聞いて感じたこと、メモ

③ 日本は「納付期」が短く主体性が失われている...

塾もない...

団体への補助が社会生活の基盤できている

4

集まる場所に
もう一度いってみたい。盛り上げたい!

植物を
植える!

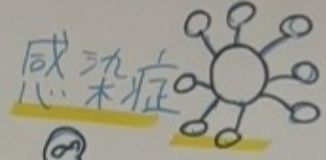
基本計画の
見直し

Q 地域で「やってみたいこと」

それを「阻むもの」は?

イベントの参加

やる場所がない……



地域との
関わりがほしい!

人が集まるも
影響力がなあ……

人が集まらない

町内会

時間が
ない……

自分が主導していい……

コミュニティが存続できない……

→ 北欧ではグループワークに慣れている
対話の場づくりにも慣れている

グループワークなどが主体になる前は?

→ 節酒政策から余暇を果した風潮に……
↳ ステイサークル → 社会参画教育

☆ 世代別で話して感じたこと
○ 世代それぞれで抱えている悩みがあるなあ

○ 余暇がなかった日本に

余暇の文化を取り入れるのが難しい・分からない

○ お互いの生活環境において 望むものがちがう面白さ

○ アイデアを出せる人が責任者ではない!

○ 意見賛同もリーダーシップ。途中で変えても・終わってもいい。

○ アイデアはあくまできっかけ。『やってみる』をやってみましょう。

理想と
現実の
ギャップ

○ 無力感

○ アイデアの実現に割ける時間があるかな……

○ 年齢的に…… ○ 本気で取り組んでないから無力感がない…… → 生活を送るので精一杯

○ どんな可能性がある?

○ 自分の行動で何か変わるかも? ○ 無力感とかの壁が……

○ 日本も少しずつ変わって……!? ○ 希望がみえてくる

○ 無カフェス!? ○ オフポート

○ 一系者においてみたいこと
○ 他の対話内容をみんなにシェア

○ 色々な世代で集まる

2024.3.20(水)
第6回!
タテミーティング交流会

↳ フィールドワーク会

